城下町地区における歴史的建造物の利活用実証実験の実施結果について

資料10

持続的な城下町の風情ある町並みを形成すべく、新町古町地区の中心に位置する「明八橋～唐人町通り周辺」にて、歴史的建造物等を利活用する実証実験を実施（令和3年3月21日～4月11日）

❶町屋の店先を活用した"無人店舗"の実験「マドカイ」



❷テナント誘致の実験「ハイカラ百貨店」



❸夜間景観の実験「明八橋と桜のライトアップ」



❹駐車場の社会実験「町屋蚤の市」



その他に、まち歩き、町屋家主相談会、既存店の夜間照明協力、プロモーション(**HP**、**CM１５本**、FB、インスタ、市LINE）等を実施

約12,000回閲覧　約70,000回再生

効果① 本事業に対する**認知度が向上**

PR活動を通じて『約30メディア』に掲載 ※R3.5.11時点

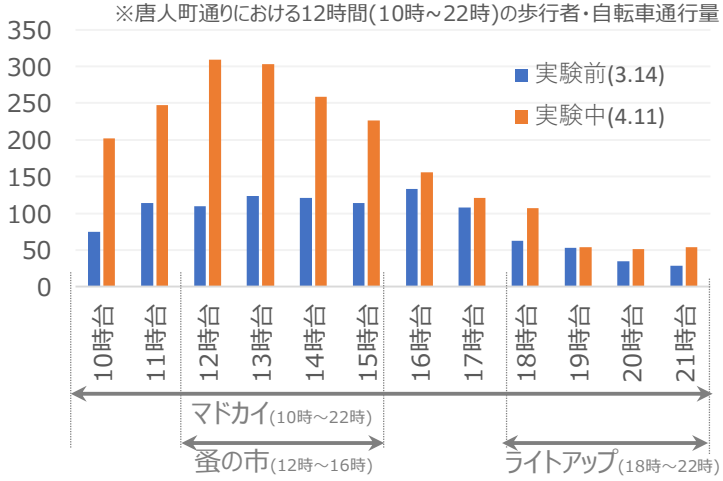
【内訳】

TV(7件) 新聞(3件) ラジオ(2件) 雑誌等(2件) Web(14件)

効果② 歩行者通行量が**倍増**

実験前:1,079人 → 実験中:2,089人

※唐人町通りにおける12時間(10時～22時)の歩行者・自転車通行量



効果③ **周辺への集客効果あり**

唐人町通り沿線店舗の客数が・・・

実験前(R3.3.20) → **実験中(R3.3.27)** → **実験中(R3.4.11)**

基準値:1　**約1.3倍**　**約1.6倍**

※珈琲回廊より提供

※各日同時間帯のレジ通過客数で比較

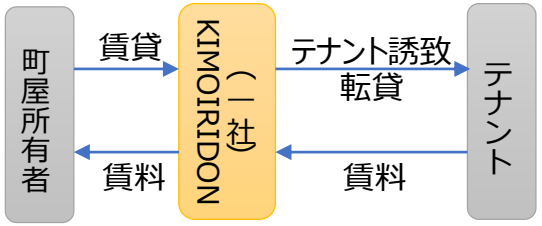
効果④ **マドカイの事業化**決定

実証実験を通じて・・・

❶家主と信頼関係を構築

❷テナントとのネットワークおよびマッチングのノウハウを蓄積　したことで、

地域のまちづくり団体の運営の下、事業継続につながった。



実験を行った2軒の町屋は、いずれも次なるテナントが決定し、継続的に活用される予定。

その他の町屋家主からも相談の連絡があり接触中

引き続き、歴史的建造物の保存・活用に焦点を置き、新旧融合型のまちづくりを進める